

みはまナビフェス2018



日向定置網漁業組合による水産物の販売



はたらく車展示



町内合唱団による「美浜町民の歌」の合唱



花の寄せ植え教室



保育園児によるダンス



みはまガールズ



コミュニティルームの作品展示



茶道体験



川辺太鼓



みはま餅っ子隊のもちのふるまい



美方高等学校吹奏楽部



押し花サークルによる体験



響締めぶり食比べ



美浜おみや試食販売



星城中学校(愛知県)のPR発表



みはまYumYumPROJECT活動発表

産業部門

11月10日と11日に、みはまナビフェス2018 産業部門を町役場駐車場の特設会場で開催しました。会場では、町の農林水産業をはじめとする各団体による販売や展示、体験等が行われました。また、ステージでは各種団体の発表や農林水産物品評会の表彰等が行われ、訪れた人たちはさまざまな催しを楽しんでいました。

文化部門

11月2日から4日に、みはまナビフェス2018 文化部門をなびあすで開催しました。会場では、町民の皆さんによる作品展示や体験コーナー、バザー、芸能の祭典と題したステージ発表等が行われ、訪れた人たちは展示作品や発表等を鑑賞しながら、「文化の秋」を堪能していました。

農林水産物品評会

11月10日に、農林水産物品評会が開催されました。受賞者については、次のとおりです。(敬称略)



品評会表彰式



ミニ野菜の部

◎グランプリ・1等賞受賞者

| 部門 | 氏名 | 品名 | 部門 | 氏名 | 品名 |
|--------|-------------|-------------|---------|----------------|-------------|
| グランプリ | 大同 美喜男 | 白ネギ | 果樹 | 田邊 博 | 次郎柿 |
| 葉菜類 | 岡部 哲章 | きゅうり | 林産物 | 高木 豊 | わさび |
| 根菜類 | 桃井 和幸 | かぶら | 加工品 | 有限会社 二エカワ水産 | レンコダイ 干物 |
| 穀類 | 和田 肇 | 小豆 (大納言) | ミニ野菜 | 中瀬 博信 | ミニ白菜 |
| ハナエチゼン | 八木 照爾 | | 花の寄せ植え | 森本 弘子 | |
| 米 | コシヒカリ 澤田 勲 | | おもしろ野菜 | 株式会社 和 | コリンキー |
| | あきさかり 野崎 博徳 | | ミニ野菜特別賞 | 奥村 憲昭 | ミニカブ |

鯖〜ソニック2018



K'z Heaven

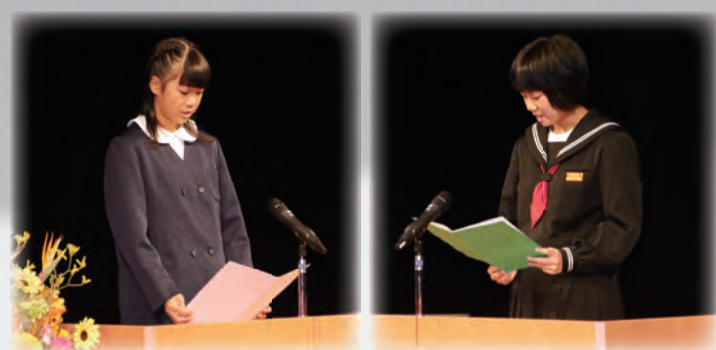


the cultures

鯖〜ソニック2018は、みはまナビフェスを盛り上げることを目的に、美浜町出身の若者が中心となって企画されたイベントで、今年で2回目の開催となりました。当日は5グループが出演し、約200人の観客とともに大きな盛り上がりにも包まれました。

読書感想文 コンクール

入賞者発表



↑最優秀賞受賞者を代表して朗読する吉本 瑚彩さん(左:美浜東小)、
山口 千晴さん(右:美浜中)

11月3日に、なびあすで美浜町読書感想文コンクールの表彰式が行われました。
今回のコンクールには、1,119作品の応募があり、次の方々が入賞されました。(敬称略)

【最優秀賞】

| 部門 | 学校名等 | 氏名 | 題名 | 図書名 |
|-------|----------|-------|-------------------|------------------------------|
| 1年生の部 | 美浜西小学校 | 永井 伶実 | まっかなとまとちゃん | やさいのがつこう とまとちゃんのたびだち |
| 3年生の部 | 美浜西小学校 | 永井 咲衣 | やさしい気持ち | ひみつのきもちぎんこう かぞくつうちょうできました |
| 4年生の部 | 美浜東小学校 | 森下 乃愛 | お母さんのトリセツ | かあちゃん取扱説明書 |
| 5年生の部 | 美浜東小学校 | 吉本 瑚彩 | 自分次第で願いはかなう! | 願いがかなうふしぎな日記 |
| 中学生の部 | 美浜中学校3年 | 山口 千晴 | 「辺境生物はすごい!」から学ぶこと | 辺境生物はすごい! |
| 一般の部 | 美方高等学校3年 | 上野 和奏 | 愛情のチカラ | 博士の愛した数式 |

【優秀賞】

| | | | |
|--------------|----------------|--------------|------------------|
| 1年生の部 | 寺尾 蒼佑(美浜中央小学校) | 5年生の部 | 北脇 結人(美浜中央小学校) |
| | 中西 桜菜(美浜東小学校) | | 岩本 美由奈(美浜東小学校) |
| 2年生の部 | 平岡 海恋(美浜西小学校) | 6年生の部 | 池田 心優(美浜中央小学校) |
| | 渡辺 蒼佑(美浜西小学校) | | 山本 姫那(美浜東小学校) |
| 3年生の部 | 辻井 孝育(美浜東小学校) | 中学生の部 | 伊藤 このは(美浜中学校1年) |
| | 小坂 碧依(美浜東小学校) | | 石丸 あいり(美浜中学校2年) |
| 4年生の部 | 山脇 慧悟(美浜西小学校) | 一般の部 | 西野 綾希子(敦賀高等学校3年) |
| | 小林 拓夢(美浜中央小学校) | | 村寄 あゆみ(藤島高等学校2年) |

【入選】

| | | | | | |
|--------------|-----------------|--------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 1年生の部 | 山脇 芽依(美浜西小学校) | 4年生の部 | 岸本 沙也加(美浜中央小学校) | 中学生の部 | 北山 優香(美浜中学校1年) |
| | 山本 壮真(美浜中央小学校) | | 奥村 花音(美浜中央小学校) | | 岨本 桜季(美浜中学校1年) |
| | 椎崎 蓮斗(美浜中央小学校) | | 藤本 朔矢(美浜東小学校) | | 大野 宰佳(美浜中学校3年) |
| 2年生の部 | 前田 里菜(美浜西小学校) | 5年生の部 | 武田 楓和(美浜西小学校) | | 濱野 天音(美浜中学校3年) |
| | 中村 駿斗(美浜中央小学校) | | 中村 美寿生(美浜東小学校) | 一般の部 | 河原 康太(美方高等学校1年) |
| | 中道 咲(美浜東小学校) | 6年生の部 | 田辺 いりあ(美浜西小学校) | | 大西 佑奏(美方高等学校3年) |
| 3年生の部 | 石嶋 陽翔(美浜中央小学校) | | 高木 陽菜(美浜中央小学校) | | 安武 晃浩(敦賀高等学校3年) |
| | 上登能 悠人(美浜中央小学校) | | 森下 凌(美浜東小学校) | | 杉木 繁行(中寺) |
| | 佐竹 玲勇(美浜東小学校) | | 田邊 志麻(美浜東小学校) | | |



平成30年度 美浜町町政功労表彰

11月3日(文化の日)に、永年にわたり町政の発展に貢献された方々の功績に対し、感謝と敬意を表する町政功労表彰式がなびあすで行われ、今年度は次の3人の方が表彰されました。

【私財の寄付】

田中 健氏(東京都) 前列右から2人目
寄付 1,000万円

【自治功労(消防)】

山口 哲男氏(太田) 前列中央

● 美浜消防団副団長 平成19年4月1日～平成21年3月31日(2年)
● 美浜消防団団長 平成21年4月1日～平成23年3月31日(2年)

【自治功労】

松田 うめ子氏(金山) 前列左から2人目

● 美浜町議会議員 平成10年3月15日～平成30年3月14日(20年)
● 美浜町議会副議長 平成26年3月17日～平成27年3月11日(1年)
● 美浜町議会議員 平成28年3月8日～平成30年3月14日(2年)



美浜町ゲートボール協会が 生涯スポーツ優良団体を受賞

■お問い合わせ先
町教育政策課 (担当・竹内)
☎32-6708



↑受賞の報告を行うゲートボール協会の役員

多年にわたり、地域のスポーツ振興に尽力された功績を称え、文部科学大臣が表彰する生涯スポーツ優良団体に美浜町ゲートボール協会が選ばれました。同協会は、昭和50年に発足し現在に至るまで、ゲートボールを通じて健康と仲間づくりをするとともに、会員の技術の向上に務められてきました。

10月10日には、永田会長ら役員4人が来庁し、表彰状や盾を山口町長らに披露しました。永田会長は「これからも新しい人を発掘しながら健康を第一に競技を続け、町の発展に寄与したい」と意気込みを話され、山口町長は「ゲートボールを生生涯スポーツとして普及し、ゲートボール人口を増やしたことが今回の表彰につながったと思っており、町としても名誉なことである。今後とも、更なる競技発展に尽力してほしい」と述べました。

10月18日から23日にかけて、ふくい南青山291(東京都)で大雲道人展を開催しました。町では、これまで台湾等からの訪日外国人観光客の誘客を推進するため、町の観光資源を映像化したプロモーションビデオ(PV)やタブロイド紙等の制作・発行してきましたが、今回は、そのPV等にもご出演いただいた、美術界で世界的に著名な徳賞寺住職の粟谷正光さん(大雲道人)の作品を展示するとともに、PVを監修した田中光敏監督とのトークショーにより、美浜



大雲道人展を開催し、美浜の魅力を発信

■お問い合わせ先
町商工観光課 (担当・武田)
☎32-6705



↑田中光敏監督(右)とトークショーを行う粟谷正光さん(左)

の魅力を広くPRすべく開催したものです。初日に開催したトークショーでは、粟谷さんから水墨画作品に込める思いが語られるとともに、田中監督から見た美浜の魅力等が話され、来場者約100人に美浜の良さをアピールしました。10月30日には、粟谷さんが町役場に来庁され、色紙等全34点を町に寄贈いただきました。今後では、インバウンドに係る事業で活用することとしていきます。



↑山口町長に色紙等を寄贈する粟谷正光さん(写真左)と寄贈された作品(写真右)

東京美浜会 30周年総会開催



10月27日に、東京都内で第30回東京美浜会(会長・井上克氏)総会並びに懇親会が開催されました。東京美浜会は、首都圏に在住の美浜町出身者で構成されており、平成元年に会を発足し、今年で30周年を迎えます。総会では、井上会長より「町長や議長から美浜町の現状を聞き、それぞれの地区が頑張っている様子が分かる」と話し、「東京美浜会の会員拡大」と「美浜町の活性化に向けた、会員のふるさと納税」を呼び掛け、さまざまな行事への参加を進めていきたいと抱負を述べられました。また、田中健顧問(前会長)による美浜町への1,000万円の寄付について報告されました。

山口町長からは、町の近況として、国体ボート競技で274点を獲得し、天皇杯と皇后杯を獲得できたことや、今年30周年を迎えた台湾新北市石門区との交流及び美浜・五木ひろしまラソンについて、マラソン当日には「ええとこやろ美浜」と五木ひろしさんに書いていただいた石碑の除幕式を行ったことを報告し、「東京美浜会には、今後、ますます郷土との絆を強くして発展してほしい」と挨拶しました。崎元議長からは、産業団地や住宅団地への入居状況について話され、人口減少対策が順調に進んでいると報告がありました。また、保育園児への英語教育が進んでいることを例に挙げ、町の恵まれた教育環境について紹介されました。



↑日向相撲甚句保存会による相撲甚句

東京美浜会では、美浜町出身者で、首都圏にお住まいの方を対象に会員を募集しています。ご本人をはじめ、ご家族やご親戚、ご友人等、首都圏にお住いの方がおられましたら、幹事長または町企画政策課までお気軽にご連絡ください。
※お問い合わせ先
東京美浜会
幹事長 山口司朗氏
☎045-584-7945
町企画政策課(担当・村上)
☎32-6701

忘年会・新年会での 食品ロスを減らそう

日本では、年間2,842万トンの食品廃棄物の中で、食品ロス(まだ食べられるのに捨てられている食品)として646万トン(※)が捨てられています。外食時には、特に多くの食品ロスが発生しています。今月号では、忘年会・新年会シーズンの食品ロスを減らす取り組みについてお知らせします。

(※)国民1人当たりに換算すると、お茶碗約1杯分のご飯の量を毎日捨てていることになります。

外食時における食べ残しの原因には、注文した料理のボリュームが予想外に多かったり、食べられない食材が含まれていた等理由があります。注文時に、量が調整されたメニューを頼む、事前にお店側に食べられない物を伝える等、自分の食べ

食べきれない量を注文しよう

外食時の食品ロスは大きく分けると『客に提供されなかった仕込み済みの食材』と『客が食べ残した料理』の2種類に分けられます。事業者側は、食品ロス削減のために、ハーフサイズや小盛り等、食べ残しが出ないように量を調整したメニューや持ち帰り可能なメニューの設定、持ち帰り用の容器の手配等の対策を取っています。

しかし、外食時の食品ロスの約6割が客の食べ残しといわれており、事業者だけでなく消費者も食品ロスの削減に取り組まなければ効果を発揮できません。

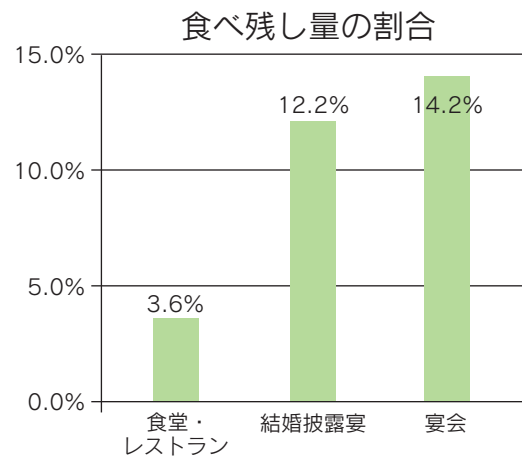
美浜の環境

シリーズ 112 environment



食品ロスの削減には事業者と消費者双方の協力が必要

外食時の食品ロスは大きく分けると『客に提供されなかった仕込み済みの食材』と『客が食べ残した料理』の2種類に分けられます。



農林水産省の「平成27年度食品ロス統計調査報告(外食調査)」(左図)によると、宴会では、普段の外食と比べ食べ残し量の割合がとて高いことが分かります。宴会時には、お酒をつぐために席を離れることで、料理に手をつけられない状況ができてしまうためだと考えられます。

長野県松本市では、宴会等での食べ残しを削減するため、平成23年から「残さず食べよう!30・10運動」を始めています。提供された料理を

残さず食べよう!30・10(さんまるいちまる)運動

られる量や食材を考えて注文しましょう。



啓発キャラクター「のっこさん」
町では、県が進める「おいしいふくい食べきり運動」を推進しています。

おいしいふくい食べきり運動 検索

☎ 32-6703

町住民環境課(担当:藤村)

※お問い合わせ先

今回ご紹介した食品ロス対策は、ほんの一部です。今後も自分でできる対策を少しずつでも実践し、食品ロスを減らしていきましょう。

宴会の開始前に、幹事側が運動の実践についての声掛けをし、食べ残しの削減に努めましょう。

乾杯後30分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
お開き前10分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

集中して食べる時間を確保することで食べ残しを削減することを目的としており、取り組む内容としては次の2つです。

美浜発電所の状況



| | |
|-------|------------------------|
| 美浜1号機 | 廃止措置中(平成29年4月19日~) |
| 美浜2号機 | 廃止措置中(平成29年4月19日~) |
| 美浜3号機 | 第25回定期検査中(平成23年5月14日~) |

全国原子力発電所所在市町村協議会創設50周年記念大会が開催されました

10月24日に、原子力発電所及び関連施設が立地する25市町村等で構成される全国原子力発電所所在市町村協議会の創設50周年記念大会が東京で開催されました。

同協議会は昭和43年6月に原子力発電所が立地する15市町村で発足して以来、原子力立地の最前線に立ち、発電所の安全確保を大前提として、地域の恒久的な発展と住民福祉の向上に取り組んできました。

設立50周年の今回の大会には、各市町村の首長や議長等が出席し、当町からは山口町長と崎元議長が出席しました。

大会では、原子力の展望やエネルギー政策をテーマとした講演や座談会が行われたほか、大会決議では、国に対し、立地地域が置かれている現状を直視し、次の4項目について取り組むよう決議されました。



↑全国立地市町村の首長・議長等が出席した記念大会

①福島第一原子力発電所事故の被災地が復興・再生を果たすまで、国が責任を持って被災地に寄り添った取り組みを継続し、被災地が望む復興像を実現すること。

②福島第一原子力発電所事故の教訓や国内外における最新の知見を踏まえ、原子力発電所等の安全性及び原子力防災対策の実効性の向上に不断に取り組むとともに、迅速な住民避難に不可欠なインフラの整備・強靱化について国の責務として財源を確保し、関係省庁が一体となって取り組むこと。

③エネルギーの安定供給と温室効果ガスの大幅な削減を達成するエネルギーミックスの実現に向け、今後の原子力発電が果たすべき役割を国民に明確に示すとともに、核燃料サイクルの展望やバックエンド対策について早期に具体化し、国民の理解のもとで確固たる原子力政策を進めること。

④エネルギー政策上の原子力発電の意義を理解し協力してきた立地地域の持続的かつ自立的な発展が図られるよう、立地地域の振興に資する諸制度について、地域の意向や実情を踏まえ、改善・拡充を行うこと。

原子力立地地域全国大会が開催されました

10月31日、11月1日の2日間において、原子力立地地域の活動と実情を理解し、連携の強化を目的とした原子力立地地域全国大会(一般社団法人原子力国民会議主催)が東京で開催されました。

大会には、原子力発電所の立地市町村の首長をはじめ、国会議員や原子力関連事業者等が出席し、当町からは山口町長が出席しました。大会1日目は、原子力に関する有識者の講演会が、2日目には原子力をテーマとした討論会等が開催されました。

各テーマを総括する討論には山口町長も登壇し、ハートフル対話を通じた住民理解活動の状況や、エネルギー環境教育の推進、美浜発電所1・2号機の廃炉を背景とした新たなまちづくりの取り組みを紹介しました。



↑総括討論で意見を述べる山口町長